

平成31年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号 5-2

局・課名： 環境局・クリーンセンター管理課

事業名	資源ごみ	事業費(千円)	平成29年度決算額	平成30年度予算額	平成31年度要求額	
			307,110	390,590	310,033	
<p>【目的】</p> <p>家庭から分別回収された缶・びん・ペットボトル・プラスチック製容器包装、小型金属の選別・圧縮等の中間処理を施し、資源として再利用することにより、ごみの排出量、焼却量を削減し、循環型社会を構築していくことを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <p>リサイクルプラザ、畑選別場、東工場一時貯留施設の運営など、分別回収される資源ごみ(缶・びん・ペットボトル・プラスチック容器包装、小型金属)の貯留や選別等の中間処理を行う。</p> <p>【今年度要求のポイント】</p> <p>異物等が混入することにより、適正に搬出された資源ごみにまで汚れが付着しリサイクルできなくなることから、適正な分別排出の周知・理解についての啓発活動を行うとともに、資源ごみの適正選別を行うための施設維持管理に係る予算を要求する。</p>	<p>債務負担行為</p> <p style="text-align: center;">～</p>	期間		要求額(千円)		
		主な要求内容 (単位:千円)				
			項目	30年度予算	31年度要求額	内容・積算等
			施設維持管理経費	42,404	59,662	施設修繕、維持管理業務等
			再資源化処理経費	307,797	244,070	再商品化手数料、選別業務等
			施設整備費	34,088	0	施設整備、監理、印刷
			その他	6,301	6,301	
			合計	390,590	310,033	
	スケジュール(経過及び今後展開)					
			<p>【経過(～30年度)】</p> <p>缶・びんに加えペットボトル・プラスチック製容器包装・小型金属の分別収集に伴う中間処理業務を開始する。</p>	<p>【31年度】</p> <p>老朽化した資源化施設の維持補修や資源物の適正処理を行う。</p>		<p>【今後予定(32年度～)】</p> <p>引き続き、安定的な中間処理及び適切な施設の維持補修を実施する。</p>
その他 特記事項						
<p>みんなの審査会対象外 関連事業:</p>						

整理番号： 10 - 3 - 0270